

## －研修成果の一部紹介－

# 授業能力の向上－授業研究

- ◎ 学校を越えた各看護学領域での横断的取組みにより、専任教員個々の教育能力の向上を目的に平成15年より設置。
- ◎ 研修期間月1回幹事校に専門領域の教員が集合し運営。
- ◎ 成果：公開授業による授業研究や、教材研究、看護診断や、形態機能学導入時等の教案作成など都立7校のスケールメリットを生かし、授業に反映させている。

### 平成21年度都立看護学授業研究会幹事校

領域	基礎看護学	在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	形態機能学	災害看護
学校	板橋	広尾	荏原	南多摩	北多摩	府中	青梅

5

## －研修成果の一部紹介－

# 看護実践能力の向上－臨床研修

- ◎ 最新の診療の補助技術や日常生活の援助技術などの実践を通して教員の看護実践能力を高め、その経験を看護教育に活用することを目的とし、平成15年より設置。
- ◎ 研修期間（下記のいずれかを5年に1回悉皆研修）
  1. 長期臨床研修（3ヶ月）
  2. 短期臨床研修（8～12日）
- ◎ 研修実績（2003年～2008年）  
長期臨床研修28名（延べ）短期臨床研修142名（延べ）
- ◎ 成果：看護診断の実際、術前術後の看護、終末期看護、諸検査の介助等が経験でき、自分の臨床能力の確認や、実習指導のポイントの理解、スタッフとのコミュニケーションがとれるなどの成果をあげている（研修生の報告書より）

6